

# 南部地区再編案

## 1 地区内児童・生徒数の推移

		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年	2041年	2042年	2043年	2044年	2045年	2046年	2047年	2048年	2049年	2050年	2051年	2052年	2053年	2054年	2055年	2056年	2057年	2058年	2059年
第二小学校区	児童数	384	432	433	412	395	390	385	377	369	374	368	359	365	370	373	379	380	383	384	385	383	380	375	370	364	351	344	331	320	308	297	288	277	267	259
	学級数	13	18	18	17	17	17	16	15	14	14	13	15	16	16	17	18	18	18	18	18	18	17	17	16	15	15	14	12	12	12	12	12	12	12	12
友田小学校区	児童数	139	164	168	159	154	156	152	144	133	131	129	124	128	129	130	132	132	132	132	132	132	131	130	128	124	122	118	112	109	106	101	99	96	93	90
	学級数	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
合計	児童数	523	596	601	571	549	546	537	521	502	505	497	483	493	499	503	511	512	515	516	517	515	511	505	498	488	473	462	443	429	414	398	387	373	360	349
	学級数	18	24	24	24	24	24	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	12
第二中学校区	生徒数	335	353	315	305	306	314	290	275	274	266	259	262	260	248	231	234	238	241	245	250	252	252	254	254	253	252	249	245	242	237	229	221	213	205	198
	学級数	10	13	12	11	11	12	11	11	11	11	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

※網掛け部は望ましい規模を満たしていない状況、太枠太字部は学校施設の築70年となる年を表す。  
 ※各学校区内の児童・生徒数の推移を表す。2025年については在籍児童・生徒数の実数を表す。

## 2 学校規模について

・2059年までの望ましい規模の維持

第二小学校	友田小学校	第二中学校
○	×	○

## 3 通学区域について(現状)

・小学校4km、中学校6km圏内

第二小学校	友田小学校	第二中学校
○	○	○

## 4 小中一貫教育について(現状)

・小学校からの進学中学校



## 5 再編案

### (1) 期待する効果が得られないまたは達成困難な再編案

α案 既存の小学校を存続させるために学区域の変更を行う。

- ・南部地区の児童数の合計が2059年では349人となり、2校を存続するとして1校平均175人(1校6学級)となり、望ましい規模を満たさない。  
 →地区内で小学校2校を望ましい規模で維持することはできない。

	2059年	再編後
第二小学校区	児童数	259
	学級数	12
友田小学校区	児童数	90
	学級数	6
合計	児童数	349
	学級数	12

(2) 詳細に検討する案

**A案 第二小学校に友田小学校を再編**

【再編案の考え方】

- ・友田小学校の学校規模適正化を図る。
- ・地区内での小学校は1校、中学校は1校とする。

【再編方法】

- ① 第二中学校の建て替え(第二中学校が築70年を迎える2039年までに)
- ② 友田小学校を第二小学校に再編する。(友田小学校が築70年を迎える2047年までに)
  - ・第二小学校、第二中学校で施設分離型小中一貫校とする。

【再編後の学校規模】

		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年	2041年	2042年	2043年	2044年	2045年	2046年	2047年	2048年	2049年	2050年	2051年	2052年	2053年	2054年	2055年	2056年	2057年	2058年	2059年	
第二小学校区	児童数	384	432	433	412	395	390	385	377	369	374	368	359	365	370	373	379	380	383	384	385	383	380	505	498	488	473	462	443	429	414	398	387	373	360	349	
	学級数	13	18	18	17	17	17	16	15	14	14	13	15	16	16	17	18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	12	12
友田小学校区	児童数	139	164	168	159	154	156	152	144	133	131	129	124	128	129	130	132	132	132	132	132	132	132	131													
	学級数	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6														
第二中学校区	生徒数	335	353	315	305	306	314	290	275	274	266	259	262	260	248	231	234	238	241	245	250	252	252	254	254	253	252	249	245	242	237	229	221	213	205	198	
	学級数	10	13	12	11	11	12	11	11	11	11	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	

【再編における効果】

項目	適正規模	適正配置	小中一貫教育
効果	◎	△	△
内容	2059年まで望ましい規模を維持できる	一部公共交通を活用し、45分程度の通学時間となる。	施設分離型小中一貫校となる。

**B案 第二小学校に友田小学校を再編し第二中学校と施設一体型小中一貫校とする**

**【再編案の考え方】**

- ・友田小学校の学校規模適正化を図る。
- ・小中一貫教育推進のため、施設一体型小中一貫校を1校とする。

**【再編方法】**

- ① 友田小学校と第二小学校および第二中学校を南部地区施設一体型小中一貫校とする。(第二中学校が築70年を迎える2039年までに)
  - ・敷地については現在の第二小学校の位置とする。

**【再編後の学校規模】**

		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年	2041年	2042年	2043年	2044年	2045年	2046年	2047年	2048年	2049年	2050年	2051年	2052年	2053年	2054年	2055年	2056年	2057年	2058年	2059年
第二小学校区	児童数	384	432	433	412	395	390	385	377	369	374	368	359	365	370																					
	学級数	13	18	18	17	17	17	16	15	14	14	13	15	16	16																					
友田小学校区	児童数	139	164	168	159	154	156	152	144	133	131	129	124	128	129																					
	学級数	6	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6																					
第二中学校区	生徒数	335	353	315	305	306	314	290	275	274	266	259	262	260	248																					
	学級数	10	13	12	11	11	12	11	11	11	11	10	10	10	10																					
南部地区 施設一体型 小中一貫校	児童数	384	432	433	412	395	390	385	377	369	374	368	359	365	370	503	511	512	515	516	517	515	511	505	498	488	473	462	443	429	414	398	387	373	360	349
	学級数	13	18	18	17	17	17	16	15	14	14	13	15	16	16	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	12
	生徒数	335	353	315	305	306	314	290	275	274	266	259	262	260	248	231	234	238	241	245	250	252	252	254	254	253	252	249	245	242	237	229	221	213	205	198
	学級数	10	13	12	11	11	12	11	11	11	11	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

**【再編における効果】**

項目	適正規模	適正配置	小中一貫教育
効果	◎	○	◎
内容	2059年まで望ましい規模を維持できる	一部公共交通を活用するが、30分程度での通学が可能となる。	施設一体型小中一貫校1校となる。